



**情熱的な愛のダンスで  
ゲストへ”ありがとう”  
を表現した感動パーティー**

**車** いすのスポーツ青年と心の病を抱えた少女が出会ってから7年。ふたりを結び、生きる希望や夢を見出せたのが、車いす社交ダンスだった。「お世話になった人たちのために、楽しんでもらえるようにしたい」と、感謝”を披露宴のテーマに決めた。

光昭さんのこだわりから入場前にマイクを通してウエルカムスピーチの演出で披露宴スタート。ドアオープンでスポットライトを浴びたふたりが華やかに登場。ルンバとチャチャチャを続けて踊り、ゲストを魅了した。ダンス披露の時とは一転し、正統派タキシード&ウエディングドレス

にお色直し。キャンドルサーピスやフェアーストバイトで一気に祝福ムードに包まれた。また、ゲスト同士もふれ合えるようにと、ダンスタイムも盛り込んだ。光昭さんはダンスの先生とワルツを踊り、陽子さんも輪の中に入り、優雅なひとときを過ごした。

ファイナーレも、感謝を込めてダンスを披露。「今日の涙は辛い涙じゃないよ、嬉し涙だよ」と陽子さんが両親に宛てた手紙で、ゲストが目頭を押さえるシーンも。ゲストへの「ありがとう」の気持ちとともに、ふたりで力を合わせて生きていくという情熱が伝わるパーティーだった。

# Happy Wedding

Vol.11

取材・文/澤田寺美 撮影/滑恵介 D/赤星淳一  
取材協力/呉阪急ホテル ☎0823-20-1111